

6カ所のセクションに分かれ、それぞれの訓練が行われました。

エアバックを使用した大型車の横転引き起し作業



乗用車の緊急撤去作業



メーカー展示 & 休憩所

たくさんの隊員やレッカー関係者が見学に参加。休憩所で一息休憩。



FS-JAPANブース
消防活動・レッカー作業で使用する装備品を展示。



広大な「かじやの里駐車場」で、6カ所のセクションに分かれ、訓練が行われました。

最新電気自動車の構造と作業手順



最新EV車「テスラ」を使っでの作業手順を講義。

明石市消防局による横転車両からの救助作業



明石市消防局



編集後期

第三回あかつきレッカー技術研修会に参加し、消防と民間企業との連携による救助活動を見学、それぞれのプロが協力し持ち合わせた技術と資機材を使用して活動することにより、救助時間の短縮に繋がっていた。

昨今の災害の発生により災害時応援協定を締結している市町村が増えていることは事実だが、実際に想定訓練まで実施している例は、まだ少ないようである。

今後、より多くの地域で、官と民との災害時応援協定が締結され、共に地場を守るための活動や訓練が増えていく事により、より早くより安全に救助活動が行われていく事を願います。

また来年もあかつきレッカー技術研修会が開催されます。多くの方々にこの活動を知っていただくためにも、私共FS-JAPANは継続してサポートして参ります。

FS-JAPAN レポート

神戸市消防局・明石市消防局と民間企業 株式会社あかつきが共同救助訓練を大規模に行う 第3回 あかつき技術研修会 in 三木

民間企業と協力して訓練

2019年4月21日(日)、兵庫県のかじやの里(特設会場)にて日本最大のレッカー会社である株式会社あかつき主催の「第3回あかつきレッカー技術研修会」が開催されました。研修会には、株式会社あかつきと災害時応援協定を締結している神戸市消防局、明石市消防局が参加し合同訓練が行われました。

開会式の挨拶で弊社阿久津は、「この規模で官と民が協力して訓練を行うのは日本でもここだけ。これからの時代、消防だけが頑張るのではなく、民間企業と手を組み、より高度な救助活動を行う。そうという素晴らしい時代が来るかもしれない。そして全国でもこの動きが広がる事を望みます。消防を代表してお礼を申し上げます。」と株式会社あかつき代表取締役社長吉岡輝昌氏に感謝の言葉を述べました。

また、訓練の実施に伴い、使用する資機材の一部を桜ホールズ株式会社とFS-JAPANが提供し、通常勤務の活動に支障が無いようサポートさせて頂いていただきました。



株式会社あかつき 代表取締役社長 吉岡 輝昌 氏
株式会社FS-JAPAN 会長 阿久津 昌之

共に得意な分野を生かし作戦を実行

救助+大型クレーンによる11tトラック引き上げ



災害協定消防局との連携による救助作業及び救援作業

災害時応援協定消防局との連携による救助作業及び救援作業は圧巻でした。

想定(細かい説明は省略)は、乗用車が河川を臨む県道で11tトラックの後方のシャーシに潜りこむ形で大破。さらに後方から4tトラックが追突。そして交差点を右側から進入してきたワンボックスが事故に気付きハンドルを切って避けようとしたが、横転してしまい11tトラックと乗用車に激突。こうした想定のもと神戸市消防局の隊員とあかつきレッカーの隊員が連携をとり高度な訓練が行なわれました。



あかつきレッカー隊員によるクレーン操作



レッカー隊員と消防の報告場面



横転したワンボックスカーからの救助



普通車 破壊救助